

特定粉じん排出等作業完了報告書

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

沼津市長 〇〇 〇〇 様

〒
ふりがな
住所
届出者 施主のお名前でご提出ください
ふりがな
氏名
〔氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名〕

特定粉じん排出等作業を完了したので、大気汚染防止法第 26 条第 1 項に基づく報告の徴収に対し、次のとおり報告します。

特定工事の場所	沼津市御幸町16番1号 (特定工事の名称) 〇〇ビル吹付けアスベスト除去工事		
特定工事を施行する者の氏名 又は名称及び住所並びに法人 にあってはその代表者の氏名	沼津市〇〇町〇〇番 株式会社△△建設 代表取締役 □□ □□		
特定粉じん排出 等作業の種類	大気汚染防止法施行規則別表第7 1の項 建築物等の解体作業(次項又は3の項を除く) 2の項 建築物等の解体作業のうち、石綿を含有する断熱材、保温材又は耐火被覆材を除去する 作業(掻き落とし、切断又は破砕以外の方法で特定建築材料を除去するもの) 3の項 特定建築材料の事前除去が著しく困難な解体作業 4の項 改造・補修作業 1 (件)		
特定粉じん排出等 作業の実施期間	自 令和〇〇年 〇〇月 〇〇日 至 令和〇〇年 〇〇月 〇〇日	※ 備考	
特定建築材料 の種類	1 吹付け石綿 2 石綿を含有する断熱材 3 石綿を含有する保温材 4 石綿を含有する耐火被覆材		
特定建築材料 の使用箇所	見取図のとおり		
特定建築材料 の使用面積	50㎡		
特定粉じん排出 等作業の方法	別紙のとおり		
特定粉じん排出等 作業の対象となる建築 物等の概要	建築物(耐火・準耐火・その他) 延べ面積 500㎡ (3階建) その他工作物		
下請負人が特定粉じん排出等 作業を実施する場合の当該下 請負人の現場責任者の氏名	沼津市〇〇町〇〇番 株式会社△△建設 現場責任者 □□ □□ 電話番号〇〇〇—〇〇〇—〇〇〇〇		
廃棄物処理委託業者	収集運搬業者:(株)×××× 中間処分業者:— 最終処分業者:◇◇◇◇(株)		

- 備考 1 特定粉じん排出等作業の対象となる建築物等の部分の見取図を添付すること。見取図は、主要寸法及び特定建築材料の使用箇所を記入すること。
- 2 ※印の欄には記載しないこと。
- 3 届出書、見取図及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き日本産業規格 A4 とすること。

特定粉じん排出等作業の方法

特定建築材の処理方法		除 去 ・ 囲い込み ・ 封じ込め ・ その他
集じん・排気装置	種類・形式・設置数	負圧除塵装置 ○○○ 1台
	排 気 能 力 (m ³ /min)	××m ³ /分 (1時間当たり換気数 10回)
	使用するフィルタの種類及びその集じん効率(%)	○○フィルター ○○.○%
使用する資材及びその種類		飛散抑制剤 ○○○ 養生テープ △△△
その他の特定粉じんの排出又は飛散の抑制方法		養生シートは、床2枚、壁・天井1枚として作業場を隔離する。 セキュリティゾーンを設置・接続し、作業場を隔離する。 湿潤剤をよく浸透させた上で撤去する。

- 備考
- 1 本様式は、特定粉じん排出作業ごとに作成すること。
 - 2 使用する資材及びその種類の欄には、湿潤材・固化材等の薬液、隔離用シート・接着テープ等の特定粉じん排出等作業に使用する資材及びその種類を記載すること。
 - 3 その他の特定粉じんの排出又は飛散の抑制方法の欄には、大気汚染防止法施行規則別表第7に規定する「同等以上の効果を有する措置」の内容、散水の方法、囲い込み又は封じ込めの方法等を記載すること。
 - 4 作業場の隔離状況及び全室の設置状況を示す見取図を添付すること。見取図は、主要寸法、隔離された作業場の容量 (m³) 並びに集じん・排気装置の設置場所及び排気口の位置を記入すること。

届出書類

- 1 特定粉じん排出等作業完了報告書
- 2 添付書類
 - (1) 見取図
特定粉じん排出等作業の対象となる建築物等の部分の見取図。主要寸法及び特定建築材料の使用箇所、前室、負圧集塵機の位置を記入すること。
 - (2) 工程表
実際に工事を行った期間について具体的に表を用いて示すこと。
 - (3) 大気中石綿測定結果
野外において大気中の石綿濃度の測定を行った場合には、その結果を添付すること。
 - (4) マニフェストの写し
A票、E票の写しを添付すること。
 - (5) 特定粉じん排出等作業の写真の添付
作業前、作業中、作業後の写真を添付すること。
 - (6) 作業場の負圧確認、集じん・排気装置の正常稼働確認結果の記録簿